

人口爆発の原因は、先進国で不足し、
食料と資源と発展途上国へ要求し
た点にある。
先進国は、人口は増え続けているが、
人口爆発したことはない。
大事なのは、先進国が自立すること。
発展途上国は、食料自給率を上げ、発展途上国が
輸入を減らせれば、人口は安定する。
そのためにも、今できることをユウウツ
やっていくことが大事！食料消費を減らし、
食料と資源を残さなければならぬ。

危機	森林の消滅	人口増加	モアイ製造
・森林の消滅により、 豊かな表層土壌が流 失し、主食の栽培が困 難になった。さらに、 船も造れず、たんぱく 源の魚も捕れなくな った。	・家屋の材料や日々の 薪、農耕地を作るため に伐採されたうえ、モ アイを運搬するため のころや支柱として も使われたのだらう。	・十一世紀頃から急激 に人口が増加。 ・百年に二倍ずつ増加 した。 ・十六世紀には一萬五 千から二万人に達し ていたと推定されて いる。	・ポリネシア人が作り 始めた。 ・十一世紀頃、モアイ の製造が始まった。
しかし、食料と資源は、 地球人口の増加に伴って、 食料と資源が不足する。	日本列島の国土の半分以上は、 日本列島の人口増加に伴って、 森林が減少した。	現代の地球は、有史以来の人口爆発の 中で生きている。 一九五〇年代に二億五千万人だった 人口は、二億七千万人に増加した。 ・五十億を突破した。 ・二〇二〇年には、二億七千万人に 増加したと推定されている。	人口増加率が高い国は、 森林減少率も高い。 ・アフリカは、三つの国に減少している。 ・食料援助がされている。 ・アフリカは、南アフリカ。
			現在

モアイは語る―地球の未来
課題
イースター島のたどった運命と現在の地球の状況を比べよう。

○教科書や資料等から、キーワードに関する情報を読み取り、表に書き込もう。

文明崩壊	食料危機	森林の消滅	人口増加	モアイ製造
・十七世紀後半から十八世紀前半にイースター島の文明は崩壊した。	・森林の消滅により、 豊かな表層土壌が流 失し、主食の栽培が困 難になった。さらに、 船も造れず、たんぱく 源の魚も捕れなくな った。	・家屋の材料や日々の 薪、農耕地を作るため に伐採されたうえ、モ アイを運搬するため のころや支柱として も使われたのだらう。	・十一世紀頃から急激 に人口が増加。 ・百年に二倍ずつ増加 した。 ・十六世紀には一萬五 千から二万人に達し ていたと推定されて いる。	・ポリネシア人が作り 始めた。 ・十一世紀頃、モアイ の製造が始まった。
	アメリカで食料不足が起きている。 地球上の人口は、 「栄養不足人口」となっている。 餓死者は、年につけて、 1500万人～1800万人もいる。 アフリカ、南アジアで多い。 人口は急激に増加している。発展途 上国で、食料不足が大きい。	ヨーロッパ、北アメリカなど先進国は、 ある程度で、人口増加が止まっている。 人口が増えれば、森林は減っていく。	① 毎年9000万人という記録的なペースで 人口が増えている。 貧困の結果、人口爆発が起きている。 人口爆発をストップするためには、 先進国が自立することが必要。 このままでは、人口が100億人になる。 さらに、世界が崩壊してほしく思 われない。 アフリカ、南アメリカ、アジアで人口爆発 が起きている。	現在
	人口は、八十億、九十億、ハクエタルが限界。 人口は、八十億、九十億、ハクエタルが限界。	森林がなくなっている。	人口は、八十億、九十億、ハクエタルが限界。 人口は、八十億、九十億、ハクエタルが限界。	

モアイは語る―地球の未来
課題
イースター島のたどった運命と現在の地球の状況を比べよう。

○教科書や資料等から、キーワードに関する情報を読み取り、表に書き込もう。

モアイは語る―地球の未来

課題

イースター島の歴史から見える現在の地球が抱える問題を自分なりにまとめよう

ステップ1 観点を決める。

人口増加について

ステップ2 イースター島 現在の地球のそれについて 決めた観点についての情報を集めよう。

現在の地球	イースター島
・発展途上国の貧困 ・先進国が既に人口爆発により、自給自足ができなくなり、不足した資源や労働力を途上国に求めた。その結果人口爆発は途上国に輸出されることになった。 ・このままでは食糧、水、エネルギーの絶対的な不足のために人口が百億人になる前に世界が崩壊してしまう。 ・アフリカ、南アジアで人口爆発が起きている。	・17世紀頃から急激に人口が増加 ・百年に二倍ずつ増加した。 ・16世紀には一万五千人から二万人に達していたと推定される。

ステップ3 問題点の解決策を考えよう。

人口増加の解決策として一つ言えるのは、一人、子供第一だと言う。それを行っていると中国では沢山料を見る限り、あまり人口爆発は起きていない。だがそこにも問題がある。今の世界的な問題になっている。少子化、多子化がいずれも農村などの仕事もはかどるわけがない。アフリカの方はいまだに発展途上国であり先進国に強制労働がされたりする。その人の子供もをばまなければならぬ。そのため人口爆発が起きているのかもしれない。やはり先進国が自立をし、一人一人が真実に現実と向き合わなければ文明は崩壊という道に進む。森林の消滅や食料危機もすべて人口増加による問題である。すべて人間がしてきた結果である。人間がしてきた事は人間がおしていかなければ、地球に未来はないと私は思う。

モアイは語る―地球の未来

課題 イースター島の歴史から見える現在の地球が抱える問題点を自分なりにまとめよう。

ステップ1 観点を決める。

森林の消滅

ステップ2 イースター島 現在の地球のそれについて 決めた観点についての情報を集めよう。

現在の地球	イースター島
世界の森林面積は約四十億ヘクタールで、陸地面積の約3割が森林で覆われている。地球全体に占める森林面積は七・六パーセント。 二〇〇〇年から二〇〇五年にかけて減少した森林は、年平均で約七三〇万ヘクタール(今分間に東京ドーム三個分、一時間では約百八十個分に相当する) 一九九〇年から二〇〇〇年までは、欧州以外のすべての地域で森林が減少していたが、二〇〇〇年以降、アジア地域では中国の大規模な植林などにより年平均百万ヘクタールの増加となっている。 アフリカ地域でも減少傾向が緩やかになった反面、インドネシアをはじめ南米地域などでは依然として森林の減少率が高くなっている。	家屋の材料や日々の薪、農耕地を作るために伐採されたうえ、モアイを運搬するためのころや支柱としても使われたりだろう。

ステップ3 問題点の解決策を考えよう。

人工林を植える

省エネの実施

リサイクル商品をつくる

ボランティアで苗を植えたりする

再生紙(新聞の回収)